

まちかど アルバム



たなばた 七夕飾りで街をにぎやかに

若桜街道

7月1日(火)、遷喬小学校の全校生137人が、若桜街道商店街で七夕の飾り付けを行いました。これは、子どもたちと商店街の人との交流で街のにぎわいを創出しようと、「まちづくりレディース鳥取(米村京子会長)」が企画したものです。子どもたちは、「水泳が上手になりたい」「きれいな字が書けるようになりたい」といった願い事を書いた短冊を、気持ちを込めて笹に結び付けていました。

平成の名水「布勢の清水」

気高町殿

本年6月に、「平成の名水百選」に選ばれた気高町殿の「布勢の清水」。その豊かな湧水は、地元の人たちが通した管で村はずれまで配水されています。この日は、市内で花屋を営む井口勇さんが、「この名水を来店者に振る舞いたい」と、ポリタンクに汲んで帰られました。みなさんも一度、この名水を味わってみては。



夏山シーズン到来!

おうぎのせん 扇ノ山

7月5日(土)、本格的な夏山シーズンを迎え、扇ノ山で山開きが行われました。はじめにシーズン中の安全を祈願する神事が行われ後、早速、市内外から集まった約100人が、1310mの山頂を目指しました。この日は天候もよく、参加者はなだらかな登山道をゆっくりと歩き、緑豊かな自然を満喫しました。

因幡の郷土芸能が一堂に

パレット鳥取

6月21日(土)、若桜街道沿いにある弥生にぎわい拠点「パレットとっとり」で、「因幡の郷土芸能祭」が開催されました。これは、鳥取市観光協会が、市民や観光客のみなさんに因幡地方の郷土芸能を広く知ってもらおうと開催したもので、この日は東部わかとり会の「しゃんしゃん傘踊り」や津無郷土芸能保存会の「津無大黒舞」などが披露されました。この催しは、12月までの毎月第3土曜日に開催されます。



大好評の「砂の美術館」が10万人突破！

鳥取砂丘

6月26日(木)、「砂の美術館」の入館者が、オープンから2カ月で10万人を突破しました。記念すべき10万人目となったのは、島根県出雲市の松島広子さん(写真右から2人目)。記念品として、砂像のポストカードや「砂丘らっきょう」「2009鳥取・因幡の祭典」のPRグッズなどが贈呈されました。友人2人と砂丘観光に来ていて、偶然にもこの幸運を手にした松島さん。「砂でできているのに、崩れないなんてすごい！」と驚いていました。



ラッキョウ掘りに挑戦

福部町海士

7月1日(火)、福部保育園の園児が、ラッキョウ掘りに挑戦しました。収穫したのは、子どもたちが昨年の秋に植えた福部町特産のラッキョウ。地元農家の人に教えてもらいながら一生懸命掘ると、大粒のラッキョウが次々と現れ、大満足の笑顔です。この日収穫したラッキョウは、酢漬けにして給食に出されるとのことで、子どもたちは今から楽しみにしています。



ホタルで集落を活性化

佐治町加瀬木

佐治町加瀬木では、集落活性化推進委員会のみなさんにより、「ホタルがたくさん飛ぶ環境づくり」が進められています。7月6日(日)に行われた勉強会では、「あづなれに 檜船ホタルの会」の米澤正美さんよねざわまさみからホタルの生態や飼育方法などについて話を聞きました。その後、メンバーは佐治川に向かい、ホタルのえさとなるカワナや、流れる水の状況を確認しました。夢は「ホタルの乱舞する佐治川」です。

リアルなプラモデルにびっくり

わらべ館

国産プラモデル誕生50周年を記念して、6月19日(木)から、わらべ館で「プラモデル in 鳥取」が始まりました。館内には、プラモデル愛好家グループ「おやし 親父モデラーズ」のメンバーが制作した精巧なプラモデルなどが展示され、本物そっくりの車や飛行機、戦車などが、来館者の目を奪います。この展示会は9月15日(月・祝)まで開催。



カジカガエルのおたまじゃくしを放流

河原町牛戸

河原町牛戸おごうちの小河内川で6月16日(月)、西郷保育園の園児が、カジカガエルのおたまじゃくしを放流しました。子どもたちは、清流に生息するカジカガエルのため、川のごみ拾いを行った後、カップに入れたおたまじゃくしを、そっと川へ放してやりました。早く大きくなって、鳴き声を聞かせてね。